

2009年度 環境省・東京大学サステナビリティ学連携研究機構公開フォーラム

# ヒートアイランド対策と 持続可能で快適な社会 2010

— 人体の温熱生理応答を考慮したヒートアイランド対策の推進 —

環境省及び東京大学サステナビリティ学連携研究機構(IR3S)では、持続可能で快適な社会を目指すヒートアイランド対策をテーマとした公開フォーラム「ヒートアイランド対策と持続可能で快適な社会2010」を開催します。

本フォーラムでは、ヒートアイランド現象や対策の現状を踏まえて、人体の温熱環境への生理応答モデルを用いた健康リスクの予測手法やヒートアイランド対策効果の高い緑化手法の活用方法等を紹介するとともに、持続可能で快適な社会の形成に向けたヒートアイランド対策の方向性について広く議論します。

日時

**2010年  
2月15日(月)**

14:00~17:30(開場 13:00)

場所

**東京大学 鉄門記念講堂**

(医学部 教育研究棟 14階  
東京大学本郷キャンパス内、文京区本郷7-3-1)



## プログラム

● 開会挨拶 環境省 ..... 14:00-14:05

### ● 基調講演

1. 都市気候とヒートアイランド対策 ..... 14:05-14:25  
(三上岳彦 帝京大学教授)
2. 都市計画とヒートアイランド対策 ..... 14:25-14:45  
(武内和彦 東京大学教授/IR3S副機構長)

### ● 研究報告

1. 快適な温熱環境形成のためのシミュレーションを活用したヒートアイランド対策の推進
  - (1) 屋外空間の人体の温熱生理応答評価のためのシミュレーション手法の概要 ..... 14:45-15:05  
(大岡龍三 東京大学教授)
  - (2) ヒートアイランド対策に資する都市緑化手法の提案とその評価 ..... 15:05-15:25  
(村上暁信 筑波大学講師)
2. ヒートアイランド対策の経済的側面について ..... 15:25-15:45  
(青山俊介 日本プロジェクト産業協議会 (JAPIC)環境委員会委員長)

### ● 休憩

### ● パネルディスカッション

「快適な環境づくりのためのヒートアイランド対策の推進方策」 ..... 16:00-17:25

モデレーター：花木啓祐 (東京大学教授)

パネリスト：青山俊介 (JAPIC 環境委員会委員長)

大岡龍三 (東京大学教授)

梅干野晁 (東京工業大学教授)

三上岳彦 (帝京大学教授)

村上暁信 (筑波大学講師)

● 閉会挨拶 花木啓祐 (東京大学教授) ..... 17:25-17:30

## お申し込み

事前申込制 (先着順 定員280名)

参加ご希望の方は2月9日(火)までにIR3Sホームページにて登録ください。ご都合によりWEB登録が出来ない場合は、氏名、ふりがな、御所属、電話番号、E-mailアドレス又はFAX番号を記載のうえ、下記の申込先にFAXにてお申し込みください。参加者には参加証をお送りしますので、当日御持参下さい。なお、定員に達し次第、申し込みは締め切らせていただきますので御了承ください。

受付ホームページ

<http://www2.ir3s.u-tokyo.ac.jp/hiforum2010/>

連絡先：東京大学サステナビリティ学連携研究機構 (IR3S)  
担当：伊勢島 TEL：03-5841-8377、FAX：03-5841-1545

主催：環境省  
共催：東京大学サステナビリティ学連携研究機構 (IR3S)

参加費  
無料

講演者・  
パネリストの

紹介

# ヒートアイランド対策と 持続可能で快適な社会 2010

—人体の温熱生理応答を考慮したヒートアイランド対策の推進—



**武内 和彦**

Takeuchi Kazuhiko

東京大学東京大学大学院農学生命科学研究科教授、サステナビリティ学連携研究機構(IR3S)副機構長、国連大学(UNU)副学長、中央環境審議会委員、日本都市計画学会会長、日本造園学会会長。専門は緑地環境学、地域生態学。



**青山 俊介**

Aoyama Shunsuke

(株)エックス都市研究所取締役特別顧問、(社)土木学会地球環境委員会顧問、(社)日本プロジェクト産業協議会(JAPIC)環境委員長、(社)日本有機資源協会副会長、杉並区環境清掃審議会副会長。専門は環境計画・廃棄物計画学。



**三上 岳彦**

Mikami Takehiko

帝京大学文学部教授、首都大学東京・名誉教授。専門は自然地理学、気候学、研究テーマは、都市の気候変動(ヒートアイランド、クールアイランドなど)、小氷期の気候復元など。著書に「都市型集中豪雨はなぜ起こる?」(技術評論社)などがある。



**花木 啓祐**

Hanaki Keisuke

東京大学大学院工学系研究科教授、サステナビリティ学連携研究機構(IR3S)兼任教授、日本水環境学会前会長。専門は都市環境工学、とりわけ都市のエネルギー、熱、物質フローの管理。著書に「都市環境論」(岩波書店)などがある。



**大岡 龍三**

Ooka Ryoza

東京大学生産技術研究所教授。専門はサステナブル都市環境工学。都市のエネルギーや環境問題の研究に従事。



**梅干野 晁**

Hoyano Akira

東京工業大学大学院総合理工学研究科環境理工学創造専攻教授。日本ヒートアイランド学会会長、日本赤外線学会副会長、日本リモートセンシング学会前会長。専門は都市・建築環境工学、環境のリモートセンシング、都市・建築緑化。



**村上 暁信**

Murakami Akinobu

筑波大学大学院システム情報工学研究科講師。専門は緑地計画学、造園学。緑の環境保全機能の分析や都市の緑地計画策定に従事。

会場  
のご案内

**東京大学 鉄門記念講堂**

東京都文京区本郷7-3-1  
東京大学医学部  
教育研究棟14階  
TEL : 03- 3812-2111  
(東京大学 代表)

